

講義コード	1158	科目区分	教職に関する科目(中・高一種免許)
(フリガナ)	キョウシヨクジッセンエンシユウ(チュウ・コウ)	(フリガナ)	クニキ タカハル
授業科目名	教職実践演習(中・高)	担当教員名	國木 孝治
英文授業科目名	Practical Seminar for the Teaching Profession		
基準年次(開講期)	4年生(後期)	履修形態	教職必修
曜日/時限/講義室	火曜日/4時限/第2演習室(PCルーム)		
授業の方法	演習	授業の方法(詳細情報)	演習中心、講義中心
単位	2	週時間	1
授業のキーワード	教員として必要な資質能力、教職ポートフォリオ		
授業概要・目的	本授業の目的は第1に、受講者自身が「履修カルテ」(教職課程の履修履歴)の内容を参照しながら、履修した各教職課程関連の授業、及び、教育実習、介護等体験を通して学んだことについてポートフォリオ化(書類や資料の蓄積)し、ディスカッションすることで、到達目標に達しているかどうかを振り返り、自己点検・評価する(リフレクション)こと。そして第2に、演習、指導案作成、模擬授業、討論、事例研究などを通して到達していない点を補完したり、到達している点をさらに充実させることである。なお、授業後半では、テーマを設けて集団討議を行い、活発な議論を履修者同士展開していく。その際の教材としては、新聞、TVニュース、ドキュメンタリー等、その都度トピックに合ったものを利用する。		
到達度評価の評価項目	<p>[教科の指導内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科の指導内容に関して十分な知識や技能を獲得している <p>[教科の指導法]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習や発達に関する理解を統合した指導計画を立案することができる ・教材や指導法などについて知識を持ち、教育・授業実践ができる ・生徒の発達や学習を評価することができる <p>[生徒指導および学級・学校経営]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒を理解し、信頼的な関係を築いて指導することができる ・学級経営などを理解している ・学校や教育を取り巻く基礎的な知識を獲得している <p>[資質・能力]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育者に求められる資質や能力(使命感、教育的愛情、対人関係能力など)を備えている 		
授業計画			
第1回	授業ガイダンス 履修カルテ、教職課程ポートフォリオとは		
第2回	教職課程ポートフォリオの作成① 履修カルテの整理		
第3回	教職課程ポートフォリオの作成② 年度ごとのリフレクション		
第4回	教職課程ポートフォリオの作成③ 活動の記録		
第5回	教職課程ポートフォリオの作成④ 目標に達したことを示す成果資料		
第6回	「教科の指導内容」のリフレクションとフォローアップ① 自分の実践の教育目標の明確化について		
第7回	「教科の指導内容」のリフレクションとフォローアップ② 生徒のつまずき、単元の教材、小・中・高の系統性について		
第8回	「教科の指導法」のリフレクション 学習指導案、参加型の授業の考案、模擬授業について		
第9回	「教科の指導法」のフォローアップとまとめ 総合的な学習の時間の単元指導計画について		
第10回	「生徒指導および学級・学校経営」のリフレクションとフォローアップ① 生徒理解と人間関係の構築、学校におけるボランティア活動		
第11回	「生徒指導および学級・学校経営」のリフレクションとフォローアップ② いじめへの対応、教師に対する反抗的態度への対応、保護者への対応		
第12回	「資質・能力」のリフレクションとフォローアップ① 教職の意義や役割、学校教育における関係法規について		
第13回	「資質・能力」のリフレクションとフォローアップ② 人権教育、特別支援教育、民族教育について。他の教職員との協力のあり方について		
第14回	設定課題の探求 グループ討論		
第15回	教職ポートフォリオの完成 授業総括		
教科書・参考書等	<ul style="list-style-type: none"> ・教育実習録 ・文部科学省:中学校学習指導要領解説(総則編)(保健体育編)(道徳編)(特別活動編)(総合的な学習の時間編)。 ・文部科学省:高等学校学習指導要領解説(総則編)(保健体育編/体育編)(道徳編)(特別活動編)(総合的な学習の時間編)。 西岡加名恵ほか(2013)教職実践演習ワークブッカーポートフォリオで教師力アップ。 		
授業で使用する機器等	テキスト、配付資料、音声教材、映像(ビデオ/PC/その他画像資料)		
予習・復習へのアドバイス	履修者記載用の履修カルテの整理		
履修上の注意・受講条件等	学科・専攻で定める中・高教職免許取得に係る諸条件を満たし、当該年度(または前年度)に教育実習に行くことが許可されている者。教職課程履修に強い意欲と責任感を示す者。		
成績評価の基準等	以下の3つの観点から評価する。 1) 授業到達目標に対する到達度評価(40/100) 2) 教職ポートフォリオ(40/100) 3) グループ討論など授業への取り組み(20/100)		
メッセージ	真剣に教員を目指すものとして、1年次から学んできた全ての教職に関係する授業内容をまとめ、教師を志す強い意志を持続させることが必要である。		
オフィス・アワー	各期オフィス・アワー時に國木孝治研究室(7号館:726)にて対応する。		
その他	遅刻厳禁。授業中の飲食禁止。携帯電話の電源は切り、机の上に置かずにしておくこと(各種障がいのために携帯電話が必要な場合は申し出ること)。		